

水道施設整備の状況

平成18年度に実施した主な工事は、次のとおりです。

区分	工事内容	事業費
送配水管新設工事	幹線となる配水管（水道管）を布設し、水道水の安定供給を図るための工事を行いました。また、配水管が整備されていない公道内に、配水管を布設し、水圧低下などの解消を図る工事を行いました。	3,652万円
送配水管改良工事	赤水発生の解消や地震などの災害に強い水道施設の整備を図るため、老朽化した配水管の改良（更新）工事を行いました。	4,492万円
送配水管移設工事	公道の拡幅工事や下水道工事などに伴い、配水管の移設工事を行いました。	4,699万円
その他送配水の工事	配水管工事に伴う道路の舗装復旧工事や旧美園ポンプ場解体工事などを行いました。	668万円
水道メーター取替工事	計量法で定められている水道メーターの取り替え（8年ごと）の工事を行いました。	3,014万円
その他設備工事	登別温泉浄水場沈澱池設備の一部改修や幌別浄水場水質監視装置の増設などを行いました。	780万円



▲橋梁添架管



▲耐震継手管

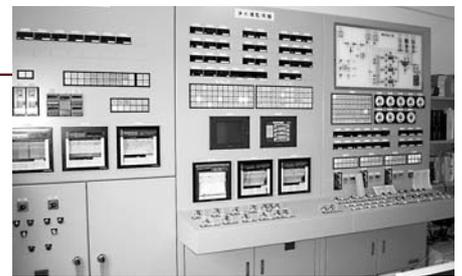
財産の状況

バランスシート（貸借対照表）は、企業の財政状態を明らかにするため、保有するすべての資産や負債、資本を表示したもので、株主などに会社の経営内容を知ってもらうために作成される報告書です。

次の表は、平成18年度末現在での水道事業の財政状態を表したものです。

【バランスシート】

区 分(資 産)		金 額	区 分(負 債・資 本)		金 額
固 定 資 産		83億1,527万円	流 動 負 債		1億 336万円
有形固定資産 (建物・配水管・水道メーターなど)		83億1,527万円	未払金(未払いの債務)		5,043万円
			前受金(概算払いの水道料金)		14万円
			その他(下水道料金預り金など)		5,279万円
流 動 資 産		3億7,337万円	資 本 金		68億6,862万円
預金現金(手持資金)		2億8,020万円	自己資本金 (建設改良積立金の取崩額など)		12億8,496万円
未収金(未納水道料金)		8,999万円	借入資本金(企業債)		55億8,366万円
貯蔵品(たな卸資産)		315万円	剰 余 金		17億1,666万円
その他流動資産		3万円	資本剰余金(工事負担金など)		14億9,327万円
			利益剰余金(減債積立金など)		2億2,339万円
資 産 合 計		86億8,864万円	負 債 ・ 資 本 合 計		86億8,864万円



▲幌別浄水場の水質監視盤

水道事業会計についての
お問い合わせは

水道グループ

☎5501 FAX55805
Eメール:gyoumu@city.
noboribetsu.hokkaido.jp

借入金の状況

安定した水の供給を維持するためには、浄水場や配水管などの水道施設を常に整備していかなければなりません。

この整備には、億単位のお金が必要になり、手持ちのお金では賅うことができません。

そこで、国などから借金をして、水道料金の中から返済しています。水道事業では、この借金を『企業債』といいます。

また、この借金は、現在、水道を利用している市民だけではなく、将来、利用する市民にも公平に負担してもらうという目的もあります。

平成18年度末現在で借入元金の残高は、55億8,366万円（バランスシート参照）となっています。これを給水人口1人当たりに換算すると10万6,125円になります。